



WORLD TRIATHLON



COVID-19 主催者予防ガイドライン勉強会 by TMTU

本日の勉強会について

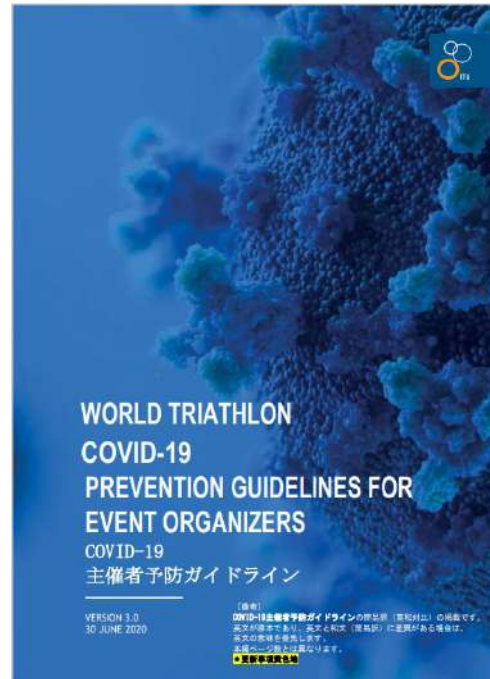
1. TMTU全体で知識を高め、ご自身の安全はもとより、大会運営を安全に運用していくことを目的としています。
2. 気になった点や質疑応答は後半で実施いたします。
ご自身でお手元にメモ等を残してください。
3. スケジュールは以下を予定しています

1. TMTU技術委員長から
2. ガイドラインの確認
3. 運営場所ごとの検討事項
4. 大会ビデオイメージ
5. 質疑応答

本日の資料 資料は下記よりダウンロード可能です

JTU > Competition & Other Info > 競技規則・大会運営・審判

COVID-19 主催者予防ガイドライン簡易訳（英和対比） 6月30日更新版



COVID-19 国内向け運営ガイドライン「大会開催に際して注意する点」（2020.5.28）

コロナウイルス対策：大会開催に際して注意する点
第1版：2020年5月27日現在

注：本文書は、2020年5月27日現在の情報に基づき記載しています。内容は最新の情報に基づき適宜更新されることにご注意ください。

目次

【はじめに：準備における考案方の要点】	…2
【大会前】	
[1] 組織対応	…2
[2] 参加選手への対応	…3
[3] 観戦者への対応	…4
[4] 大会スタッフ・ボランティアへの対応	…5
[5] 資機材対応	…7
【大会期間中】	
[6] 選手・スタッフ受付での対応	…7
[7] 参加者への対応	…8
[8] 競技説明会	…10
[9] セレモニーの中止・縮小	…11
[10] 競技運営・会場作りへの配慮	…11
[11] 衛生用品の準備	…15
[12] メディカル体制の準備	…15
[13] その他の留意事項	…17
参考1～10	…17

勉強会講師について

- **TMTU技術委員 副委員長
北野健二**
ITUガイドライン確認部分担当



- **TMTU技術委員
片倉亜矢**
運営場所ごとの検討事項担当

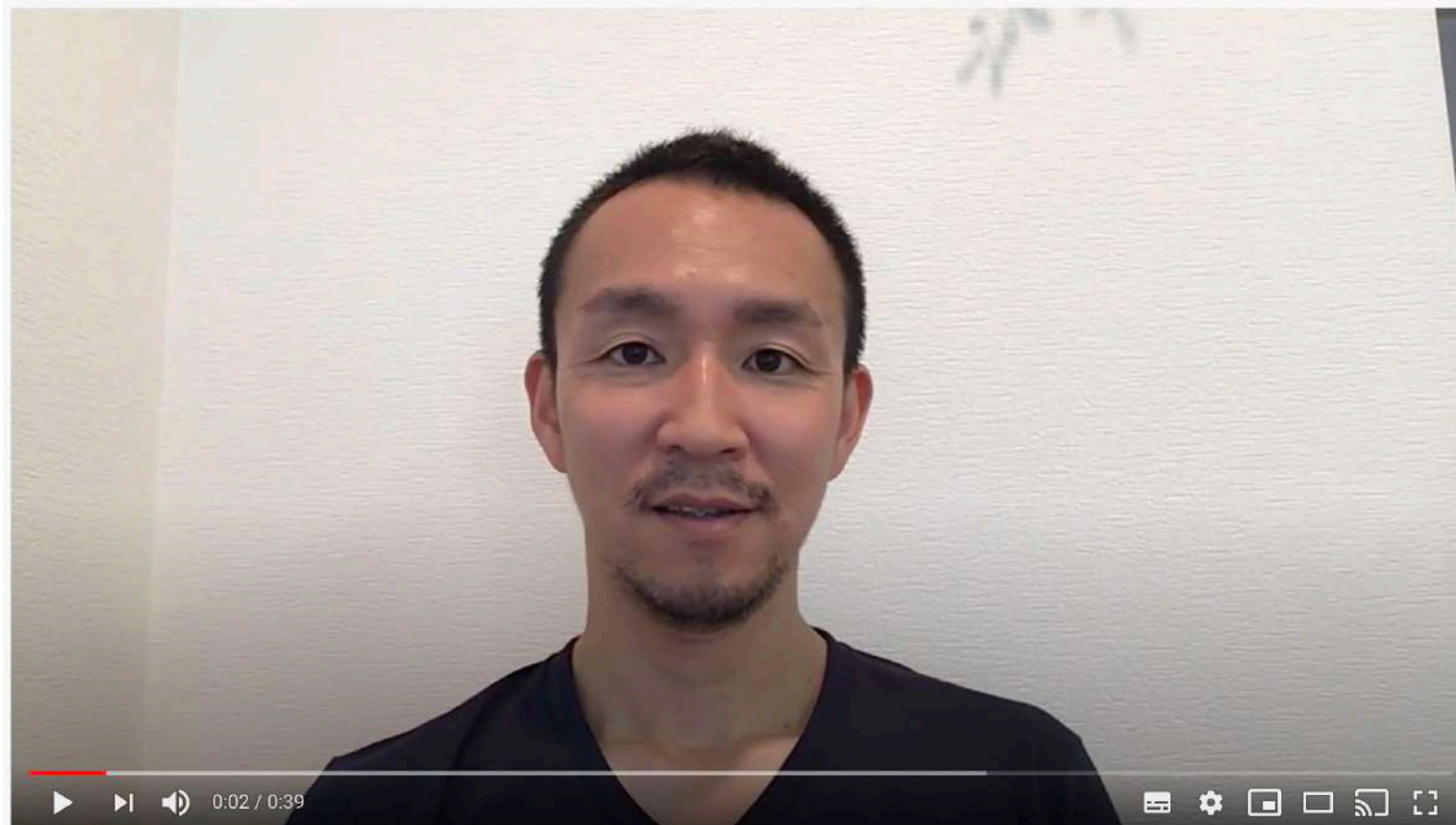


- **TMTU理事 / メディカル委員長
平泉 裕 医師**
昭和大学医学部整形外科学講座
スポーツ運動科学研究所客員教授
JTUメディカル委員



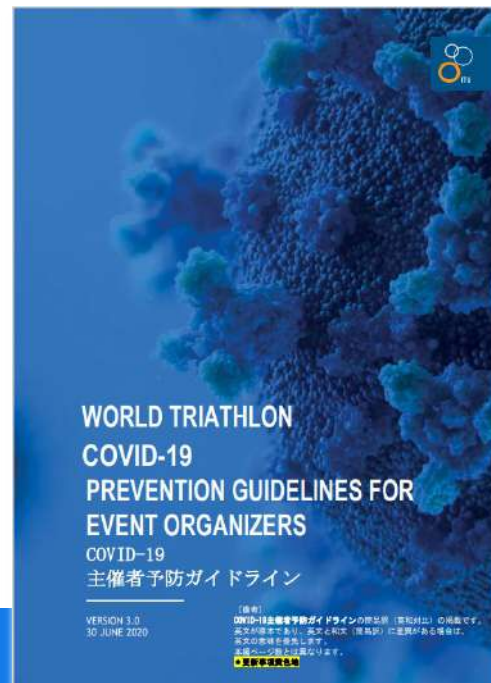
20200815

TMTU技術委員長より



<https://youtu.be/OND15iCWUrw>

20200815



**WORLD TRIATHLON
COVID-19
PREVENTION GUIDELINES
FOR EVENT ORGANIZERS
COVID-19
主催者予防ガイドライン**

ガイドラインの確認

20200815

ガイドラインの要点

- 今後のwithコロナ下における大会運営は、これまでとは違ったものになる。
- 参加者、組織委員会、観客にとってより安全な大会となるよう、みんなで創造力を発揮し、新しいアイデアのもと大会を開催する方法を検討する必要がある。
- ここに書かれてあることは『やらなくてはいけないこと』ではなく『やっていただきたいこと』である。
- エリートレースを含めた国際大会を中心に書かれたものになっているが、国内大会やエイジ大会についても、主催者、自治体、競技団体、医療関係者とともに、それぞれの状況を考慮した対策・準備をお願いしたい。

ガイドラインの要点 (続き)

- 選手はもとより、コーチ、TO、ボランティア、来場者、大会関係者すべての健康と安全を最優先に考える必要がある。
- COVID-19感染拡大防止のため、トライアスロン大会に関わる全ての人が少なくとも

ソーシャルディスタンス
接触を減らすこと
参加者の健康調査
参加者の自律性を高めること
教育

の基本事項を守ることが必要である。

ガイドラインの目次

TABLE OF CONTENTS

VERSION 3.0
30 JUNE 2020

1. General	4	• Accommodation	17
2. Individual responsibility	5	• Training facilities	17
3. WHO Risk Assessment and Mitigation Checklist for Mass Gatherings in the context of COVID-19	5	• Athletes' and coaches' briefing in World Triathlon events	17
4. Online risk assessment tool for endurance event organisers	7	• Event registration	17
5. Participants' health screening (athletes, coaches, officials, LOC staff, all accredited clients)	8	• Race package distribution	18
6. Use of mask/mouth-nose face covering and rubber/disposable gloves	9	• Bag drop-off	19
7. Medical provisions and recommendations to the event organisers	10	• Athletes' lounge check in (Elite/U23/Junior/Paratriathlon)	19
8. Event's concept paper	10	• Course familiarisations	19
9. Events' insurance and athletes' waiver	11	24. Transition zone check in/out	20
10. Risk communication and awareness	11	• For AG events	20
11. Participants' conduct	12	• For Elite races	20
12. Venue facilities	12	25. Athlete Classification (Paratriathlon)	20
13. Accreditation	13	• General	20
14. Social activities	13	• Physical Impairments	21
15. Staffing	13	• VI Classification	21
16. Spectators' flows in venue areas (controlled accessed areas)	14	• IPC Classification hygiene and Infection Control Guidelines	21
17. On site sport presentation	14	26. Competition	21
18. Expo	14	• Event format	21
19. Media & photographers' Services	14	• Start	22
20. Broadcasters' services	15	• Swim	22
21. Technical official/World Triathlon services	16	• Swim exit	22
22. Anti-doping procedures	16	• Transition zone	22
23. Athletes' services	16	• Changing tents/Gear racks	23
• General	16	• Bike	23
• Airport transfers	17	• Wheel stations	23
		• Run	23
		• Aid stations	23
		• Penalty box area	24
		• Mixed Relay exchange zone	24
		• Finish Area	24
		• Competition Jury hearing	25
		27. Medal Ceremonies	25
		28. ITU Education hub	25
		29. References	26
		Annexes	27

ガイドラインは大会主催者向けに書かれたもの。

設営に関すること
競技ルールに関すること
装備に関すること・・・
が多岐に渡って書かれている。

配置ポジションごとの取り組は後半(第2部)で説明。

はじめに

- このガイドラインは、トライアスロン競技に関わる様々なステークホルダーの意見を集約し、ワールドトライアスロンのメディカル委員会と技術委員会の審査を経て、ワールドトライアスロンによって発行されたものである。
- これらガイドラインは、（開催予定地の）地方自治体の承認のもと、開催される大会に適用されるものである。
- WHO（世界保健機関）のパンデミックレベルの説明は以下サイトで公開している。

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>

はじめに (続き)

- ワールドトリアスロンは、選手、コーチ、ボランティア、TO、そして関係者のすべての健康と安全を第一に考えている。
- このガイドラインには、イベント再開後に適用してもらいたいいくつかのポイントが書かれている。
- WHOの最新情報や、関連した研究・発表内容に応じて、ガイドラインは更新される。

1.概要

- 本ガイドラインはWHOの勧告に従っている。
- ワールドトライアスロンのmedical sectionのWebサイトで公開している。

<https://www.triathlon.org/about/downloads/category/medical>

2. 個人の責任

- 人との距離を2メートル（最低1m）保つ。 should
- 手洗いは石鹼で20秒以上かけて丁寧に洗う、アルコール消毒する。
- 握手やハグは避ける。
- 咳エチケットする。
- 自分の口や鼻、目に触れないようにする。
- 体調が悪い（例：発熱、咳など）、具合が悪いと感じる場合は、症状が治まるまで自宅で安静する。
- 具合が悪い時は大会会場には近づかない！

3. 大規模集会のためのWHOリスク評価

- オリンピックやWTS大会のような大きな大会で無ければでなければ必須ではないが、大人数が集まる大会であれば、WHOで用意している「マスクギャザリングのためのCOVID-19感染症リスク評価及び軽減チェックリスト」で評価してみることを検討する。

<https://www.who.int/publications/i/item/how-to-use-who-risk-assessment-and-mitigation-checklist-for-mass-gatherings-in-the-context-of-covid-19>

4 .オンライン方式のリスク評価ツール

- WHOと国際オリンピック委員会がオブザーバーとなり、ワールドトライアスロンはじめ、世界的なスポーツ連盟（国際サイクリング連合、国際スキー連盟、世界ローイング、国際パラリンピック委員会）の医学委員長を含む感染拡大予防タスクフォースが立ち上げた、持久系イベント主催向けのオンライン方式のリスク評価ツールである。
- 大会規模に関わらず、多くの持久系スポーツイベントに適用することができる。
- 下記URLから入手することができる。

<https://idom.worldathletics.org/>

5.参加者の健康診断

- トライアスロン大会に出場する選手は、大会の14日前から大会期間中まで継続的に健康状態をモニターしなければならない（体温の測定や症状のモニタリングを含む）。must
- 過去 14 日間、COVID-19の症状がないことを宣言しなければならない。must
- 過去にPCR検査陽性だった場合は、症状がなくても、新たに陰性のPCR検査結果を提出しなければならない。must
- 感染者を追跡できる公式のスマホアプリを利用して

APPENDIX 3 PRE EVENT QUESTIONNAIRE
大会要約 大会要約表

Name as shown in the passport or other ID パスポートあるいは他の身分証明書に おける表記名	
Your permanent address (Please enter the postal number/country) あなたの本居先 (国/州/郵便番号/国)	
Your address during the event 大会中のあなたの滞在場所	
Your telephone number あなたの電話番号	
Your e-mail address あなたのE-mailアドレス	
Countries that you visited or stayed in last 14 days あなたがこの14日前で訪れた あるいは滞在した国	

QUESTION - Within the past 14 days, have you...	YES はい	NO いいえ
Had close contact with anyone diagnosed as having Coronavirus disease COVID-19? COVID-19に感染した人と密接接触しましたか		
Provided direct care for COVID-19 patients? COVID-19患者を直接ケアしましたか		
Visited or stayed in a closed environment with any patient having Coronavirus disease COVID-19? COVID-19に感染した患者がいた閉鎖環境を訪れたり滞在したことがありますか		
Worked together in close proximity, or sharing the same classroom environment with COVID-19 patient? COVID-19の患者と近距離で仕事をしたり、あるいは同じ教室にいましたか		
Traveled together with COVID-19 patient in any kind of conveyance? COVID-19の患者と何らかの乗り物に同乗しましたか		
Lived in the same household as a COVID-19 patient? COVID-19の患者と同住していましたか		
Been in quarantine? 隔離されましたか		
Tested positive to the same PCR test? PCR検査で陽性になったことがありますか		
Experienced any of the following symptoms now and in the previous 14 days: 過去14日間及び現在における以下の症状の発症		
• Fever 熱		
• Cough 咳		
• Fatigue 疲れ		
• Dyspnea 呼吸困難		
• Myalgia 筋肉痛		
• Sore Throat 喉の痛み		
• Chest Pain 胸の痛み		
• Congestion/ Coryza 鼻づまり/鼻かぜ		
• Headache 頭痛		
• Chills 悪寒		
• Nausea/Vomiting 吐き気/嘔吐		
• Diarrhea 下痢		
• Anorexia/Dysgeusia 食欲不振/味覚障害		
• Chills/Pruritus 悪寒/痒み		



6. マスク・フェイスシールド、手袋の使用

- 全員がマスク着用する。
- 選手と接触することのある／声を出すことのあるTO、ボランティア、そのほか入場資格者全員がマスクとフェイスシールドを着用する。 strongly recommend
(例) 健康チェックエリア、受付、トランジション、スタート・フィニッシュエリア
- 健康チェックエリア、メディカルテント、エイドステーション、ホィールステーションなど身体接触が発生するエリアでは使い捨てゴム製手袋を着用する。
- 選手は、競技活動していない時はマスクの着用を推奨する。 advised
(例) 受付、大会参加パッケージの受取り時
- 競技当日、選手はスタート整列前まで使い捨てマスクを着用し、スタートライン近くに用意された専用の蓋付ごみ箱に使ったマスクは捨てる。 should
- 定期的に手洗いをする。



マスク等の使用について

	TO	選手	家族 など		
マスクの使用	○	○	○	選手・コーチ・家族などは原則各人で手配・持参	選手はスタート直前まで使い捨てマスクを着用。
フェイスシールドの使用	○	任意	任意	選手は口と鼻を覆うものでも可	

- 大会側の責任で、ボランティアとスタッフ分のマスク（**医療用推奨**）と**フェイスシールド**、そして使い捨てゴム製手袋を用意する。
- その他の資格認定者は自分の責任で必要なものを持参する。
- マスクとフェイスシールド、そして使い捨てゴム製手袋はあらかじめ決められた蓋付のゴミ箱に廃棄する。 reminded

must



TOのポジション別着用備品

	マスク	フェイスシールド	使い捨て手袋	備考
健康チェックエリア	○	○	○	ボランティアも同じ
受付	○	○		ボランティアも同じ
スタートエリア	○	○		ボランティアも同じ 濡れてもいいプール指導 者用マスクも可
トランジションゾーン	○	○		ボランティアも同じ
フィニッシュライン & 後方スペース	○	○		ボランティアも同じ
バイクコース	○			オートバイ乗車時はオー プンフェイスヘルメットを 着用
ランコース	○			
ペナルティボックス	○			
ホイールステーション	○	○	○	
エイドステーション	○	○	○	ボランティアも同じ



COVID-19勉強会 医療従事者としての注意点

TMTUメディカル担当理事／メディカル委員長
JTUメディカル委員会
平泉 裕

最初に、頭の中をリセットしましょう！

* 私たちは（PCR陰性でない限り）全員**不顕性無症候性感染者**の疑いあり

* 感染防御対策の目的 = **◎私たち⇒相手に感染させない**
◎トライアスロン大会をクラスター化させない

病院感染病棟



感染症ゾーン

防護服

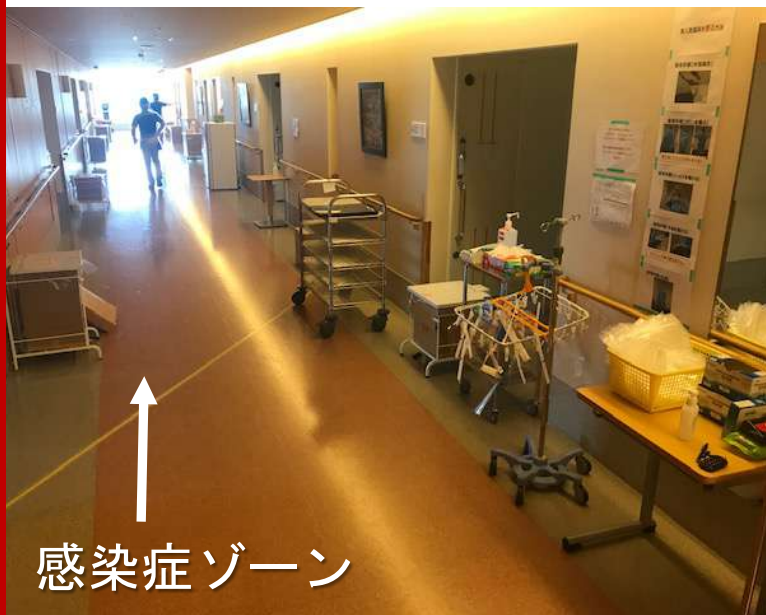
感染性廃棄物ゴミ箱



感染性廃棄物ゴミ箱

20200815

感染症棟ゾーニング



↑
感染症ゾーン



↑
ゾーニング



20200815

陸上競技大会における感染防御対策

受付と検疫ゾーン



集合ゾーン



トラック競技



フィールド競技

トラック競技



走り幅跳び



20200815

メディアゾーン



20200815

No

行動確認票 (提出用)

↑ 選手のみアスリートビブスの番号を記入してください

年	月	日	体温・体調
			℃

大会名 第21回ジュニア陸上競技・チャレンジカップ大会

氏名 _____

緊急連絡先 (別添紙) _____

活動日 _____

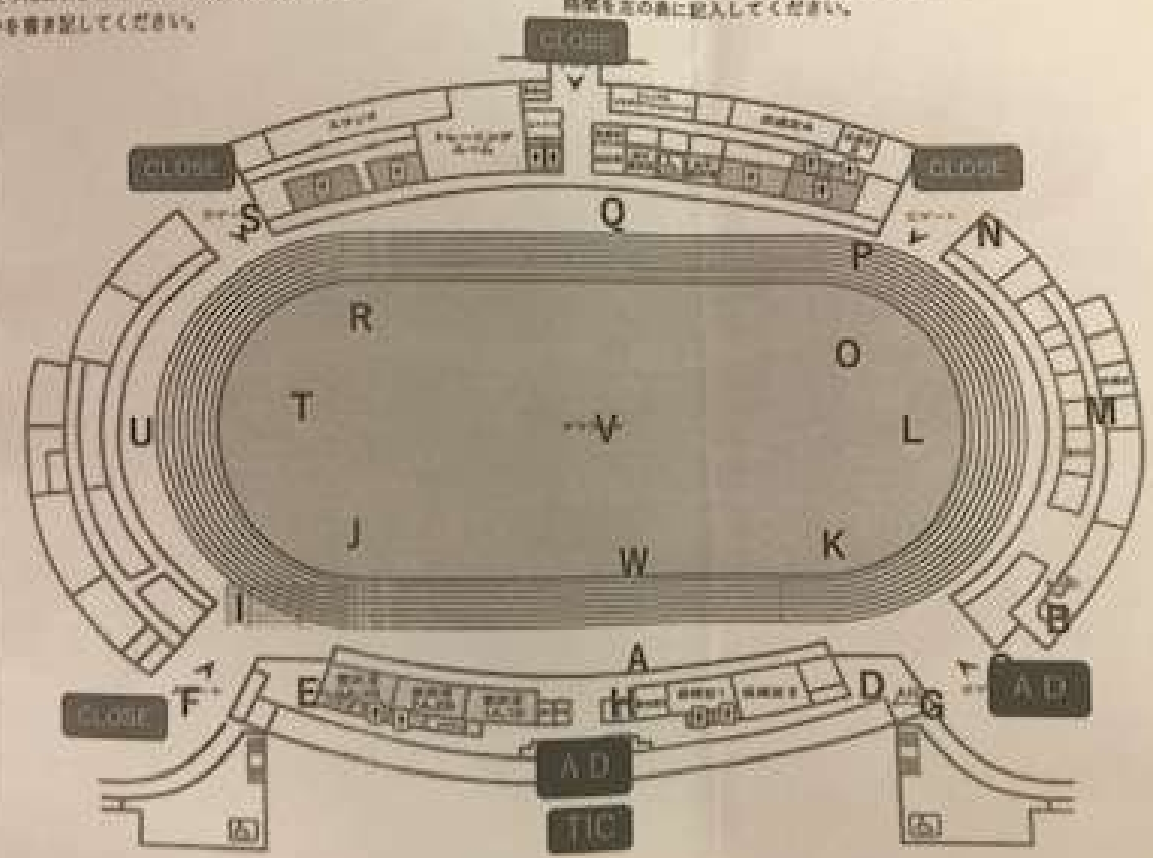
参加種目または審判部署 _____

所属または所属施設 _____

場内で活動した場所、とその時間等について、以下の時間表に具体的に記入してください。
 座った座席の大体の位置やストレッチなどで使用した位置なども記入してください。
 場内で使用したトイレについても、右の図を以て読み、使ったおおよその時間を記入してください。
 場外で活動した場合は、おおよそどこで活動していたかを書き記してください。

場中に、15分以上居立った場所および使用したトイレに記号を書き、その時間を右の表に記入してください。

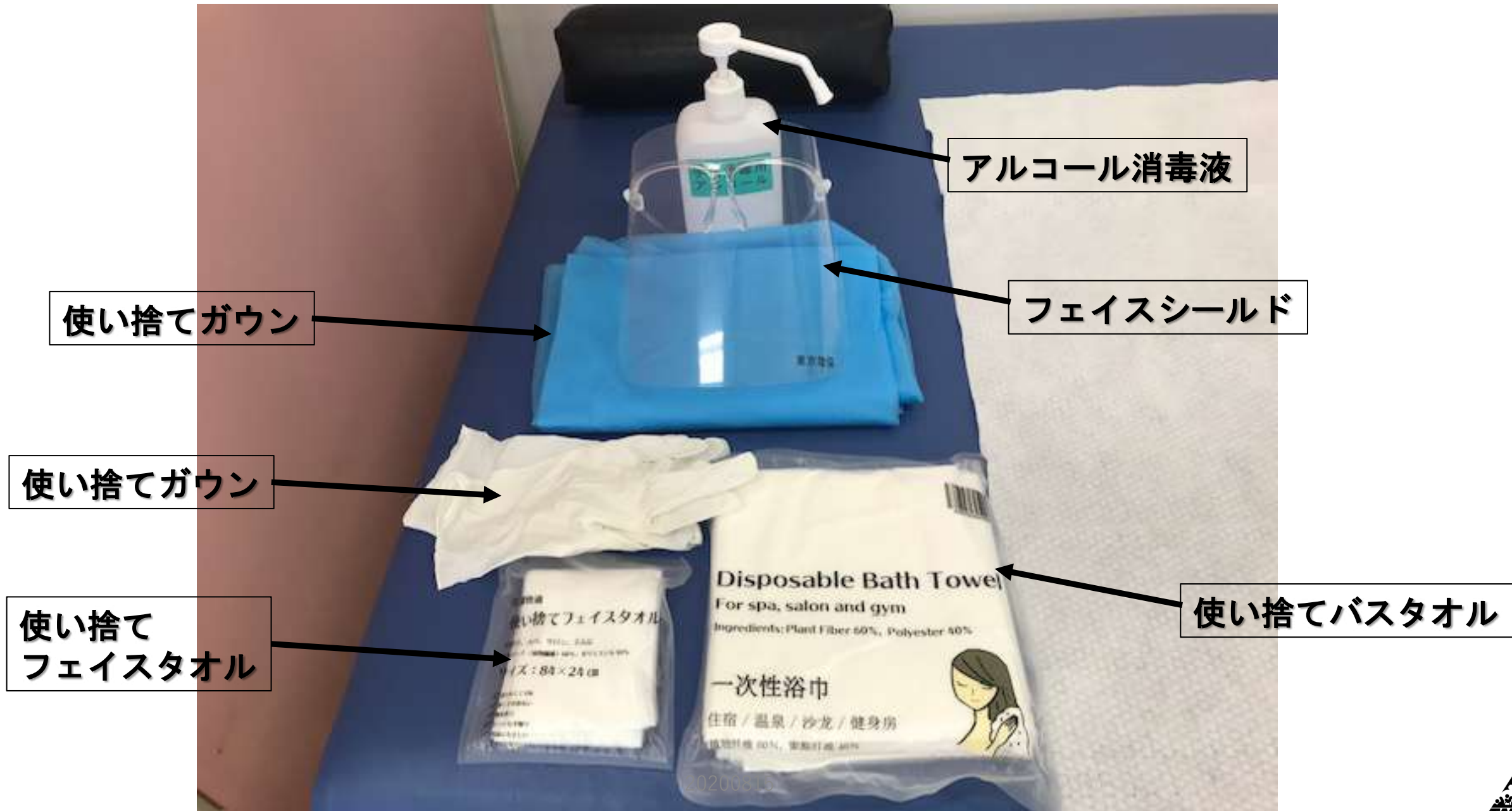
時間	活動内容	活動場所
6:00		
6:30		
7:00		
7:30		
8:00		
8:30		
9:00		
9:30		
10:00		
10:30		
11:00		
11:30		
12:00		
12:30		
13:00		
13:30		
14:00		
14:30		
15:00		
15:30		
16:00		
16:30		
17:00		
17:30		



20200815

医療チームの防護服





- 1) 不織布マスクを全員着用
マスクとフェイスシールドのどちらか1つ選択ではなく、全員が不織布マスクを着用。
- 2) フェイスシールド着用
声を出すスタッフは、飛沫を散乱させないようにマスクの上からフェイスシールドを装着。
アルコール消毒して再使用
・例：健康チェックエリア、受付、スタートエリア、フィニッシュエリア、救護班、その他
- 3) 使い捨て手袋着用
衛生を保つ作業、身体接触を伴う作業、その他
・健康チェックエリア、エイドステーション、救護班、その他：身体接触機会ごとに交換！
- 4) ガウン着用
身体接触を伴う作業
・救護班：接触機会ごとに交換！
- 5) 救護所
・タオル、バスタオルは使い捨てにする。
・患者が使用したベッド、イス、医療器材は直ちにアルコール消毒する。
- 6) 感染性廃棄物(マスク、タオル、等)は、専用の蓋付きゴミ箱またはゴミ袋に収納

7. 医療品の提供および大会主催者への推奨事項

- 石鹸と水またはアルコール系の手指消毒剤とティッシュは、すべての共用エリア、特に医療エリアで利用できるようにしておく。
- 風邪のような症状がある人のためにマスクとフェイスシールドを用意すること。
- **メディカルテントで使用するタオル、バスタオルは使い捨てにする。**
- すべての資格認定クライアントの体温をチェックするために、体温計（赤外線など）を用意する。
- 大会中に病気になったり、病気の疑いがある人を隔離できるスペースを用意する。
- 隔離エリアには、手指の衛生と呼吸エチケットを容易にするために必要な備品が備えること。

7. 医療品の提供および大会主催者への推奨事項 (続き)

- マスクとフェイスシールド、使い捨てゴム製手袋、そして使い捨てガウンを着用し、対応後は直ちに、予め用意された蓋の付いたゴミ箱（フットペダル式）に廃棄する。

（重要）ゴミとして捨てる場合は一般ごみと分け感染性廃棄物同等扱いとする。

http://www.env.go.jp/recycle/waste/sp_contr/infection/coronaqa/qa5.html#q5-12

- 処置で使ったベッド、イス、器材は、都度、直ちにアルコール消毒する。
- COVID-19感染症検査のために疑いのある症例をトリアージし、紹介できる指定医療従事者を含め、現場の医療従事者を増員する。 EOM6.3.3
- 現地当局との緊急連絡先をあらかじめ決めておく。
- 詳細は World Triathlon COVID-19 Outbreak - Guidelines for RMDs and MDsを参照すること。

<https://www.triathlon.org/about/downloads/category/medical>

8.大会での対策計画

- 開催地域での制限事項やそこでのガイドラインに合わせた、下記主要5項目を含む、COVID-19についての対策計画を用意する。

ソーシャルディスタンス

接触を減らすこと

参加者の健康調査

参加者の自律性を高めること

教育

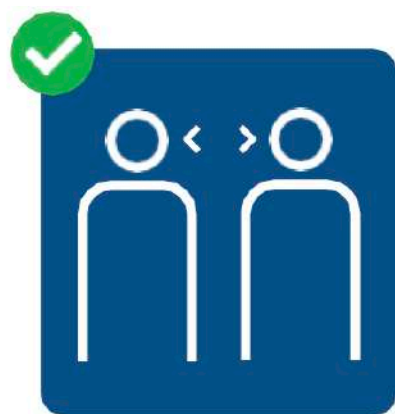
9.保険と選手の免責事項

- COVID-19関連の訴訟リスクは保険契約でカバーされているか（除外されていないのか）確認する。

10. リスクコミュニケーションと啓発

- 準備した対策を、事前にソーシャルメディア、ウェブサイトなどで参加者や観客・来場者に明確に伝えておくことが重要である。
- 風評被害に備え、国内外のメディアとの体制を整えておくことが望ましい。

advisable



KEEP YOUR
DISTANCE

距離を保
つ



WASH YOUR
HANDS

手を洗う
こと



DONOT SHAKE
HANDS

握手はしない



COUGH OR SNEEZE
IN A TISSUE OR YOUR
ELBOW AND AVOID
TOUCHING YOUR FACE

咳やくしゃみをする
時はティッシュか腕
を顔に当てること。

11.参加者への行動 recommended

- 毎日の健康チェックを行う。
- 選手、役員、観戦者、サポートスタッフの誰もがソーシャルディスタンスシングルルール（物理的に少なくとも 2m）を徹底する。
- 道具の共有は禁止とする。特に水のボトルやコップは共有しない。
- 体調が悪い人は会場に来ない。
- 65歳以上の関係者、および既往症のある人は感染時の重症化リスクが高いことを伝える。



12. 会場設備

- ソーシャルディスタンスを確保できるように設営準備する。 must
- テント/部屋の入口には、アルコール系の手の消毒液を用意する。 must
- アスリートエリア、VIP、メディア、作業スペースなどの主要エリアでは手を洗える場所も用意する。 must
- 消毒用ティッシュを用意する。会場内の清掃スタッフによりドアノブ、トイレハンドル、蛇口を消毒するようアドバイスする。
- 可能な範囲で部屋のドアは開け放つ。 must
- 衛生用品（ティッシュ、タオル、衛生用品）廃棄用の蓋付のゴミ箱を用意する。 must
- 仮設トイレ前はソーシャルディスタンスを確保した順番待ちにする。
- トイレ傍には洗面台、消毒剤を用意し、利用回数に応じて予めトイレ清掃する時間間隔を決めておく。 should

must



13.資格認定手続き

- ソーシャルディスタンスを確保できるように、大会会場内に入れる人数を制限することを検討する。
- 資格証は、日毎に健康診断を行い、問題のないことを確認した上で発行する。
- COVID-19感染症の予防手順に従わなかった場合、予防手順を守らなかった場合、たとえ資格証発行後であっても、大会会場からの退場を求められることがある。

14. 社交行事

- パスタパーティーや開会式／閉会式など、限られたスペースに多くの人が集まる行事は見直す。 should not

15. スタッフ

- ボランティアスタッフの人数を必要数に抑えるようにする。 must
- スタッフ同士が実際に会って打ち合わせる必要があるのか、オンライン利用を検討し、対面でのやりとりはソーシャルディスタンスを確保できる場所で行う。 should

16.会場における観客の動線（コントロールされたアクセスエリア）

- 公開／非公開のどちらにするか公衆衛生専門家と事前協議する
- 公開する場合、観客が立ち入る全てのエリアでソーシャルディスタンスを確保するようにする。 should be respected
- 何か所からも見ることでできる会場設営が望ましい。 must
- 観客の動線は一方通行にする。
- 観客席を用意する場合は、席と席との間は2 mの距離を空けるようにする。

17.現地スポーツ中継（オンサイトスポーツプレゼンテーション）

- 自宅から選手の順位が分かるトラッキングシステムやYouTubeなどのインターネット配信サービスで大会中継を見ることができるシステム提供を検討する。

18.大会エキスポ

- ソーシャルディスタンスを確保できるようにフロアマーキングする、密にならないブース位置にする、オンラインでの販売にする、導線が一方通行になるようにするなどの工夫を施す。

19.メディア & カメラマン向けサービス

20.報道関係者向けサービス

21. テクニカルオフィシャル/ワールドトライアスロンサービス

- 大会を通じて担当するグループが兼務にならないようにする。 should avoid
- 競技中に守るべき行動は以下の通り。 must be
 - 選手には触れない、
 - 選手とは2mの距離をあける、
 - マスクをする、
 - 必要な時だけ、ホイッスルを使用する、
 - 使用する場合も選手の方を向いて吹かない、
 - ホイッスルは短く鋭く吹き、長く吹き続けるようなことはしない、
 - 具合が悪いときはTO業務にあたらさない、
 - レースの合間に手指消毒する、
 - モーターバイク乗車時はフルフェイスのヘルメットをかぶる、
 - フィニッシュエリア担当のTOはフェイスシールドを着用する、 など

22. アンチドーピング手順

- 詳細はWorld Anti-Doping Agency (WADA) を参照。

https://www.wada-ama.org/sites/default/files/resources/files/20200506_ado_guidance_resuming_testing_en.pdf

23. アスリートサービス

- 競技前の社会的交流(ソーシャルインターラクション)を減らす為に、競技説明会、レースナンバーの配布及び全ての運営を電子化することを検討する。
- 選手は、マスク、フェイスシールドの着用を義務とする。
- 大会中止における返金ポリシーを明確にしておく。

24.トランジッションゾーン チェックイン／アウト

- 担当するTOはマスク、フェイスシールドを着用する。
- 選手の備品チェックは目視で行う。
- 選手の備品を触る必要がある場合、選手に消毒用ティッシュを提供し、チェック後に選手が備品を消毒できるようにする。
- 選手は、受付の手続きの間、マスクと使い捨て手袋を着用するよう促す。
- 選手のトランジッションゾーン滞在時間が、できるだけ短くなるように、手続きの簡素化に努める。 must
- トランジッションチェックイン時間は、トランジッションの広さ、参加選手数、出入口の数から決める。

25. アスリートクラシフィケーション (パラトライアスロン)

- 選手のクラシフィケーション時間は柔軟に設定する。
- クラシフィケーションルームは窓付を必須とする。
- 定期的に換気と検査用椅子の消毒を十分行う。

26.競 技

	Elite/U23/Junior	AG	備考
	予選（セミファイナル）を経て決勝を行う方式を検討する。	ドラフティングは禁止する。	競技中以外はマスクの着用をお願いする。 指定時間の集合に協力する。
スタート	2 mの間隔を空けてスタートラインに並ぶ。 ポンツーンでは1 m以上空けスタートポジションに付く。	ローリングスタートの導入を検討する。	スタートの順番が来るまでソーシャルディスタンスが確保できる場所で待機させる。 使い捨てマスク用を捨てる専用のごみ箱を用意する。 整列エリアに集合する際はスリッパなどを履いて参集する。
スイム出口			スイムの出口付近にシャワー設備を用意する。
トランジションゾーン	EOM4.4.1.2	選手間が最低2m、バイクラックの列は5m以上空ける。	
更衣室			更衣用テントは設置しない。 ただし、オープン・エア・スペースの荷物置場であれば預けることは可能とする。
バイク			選手100人超の大会はドラフティング禁止レースを検討する。
ホイールステーション		20200815	交換したホイールはTOの責任で消毒する。

26.競 技 (続き)

	Elite/U23/Junior	AG	備考
ラン			折り返しがない、そして周回数の少ないコースが望まれる。 選手は前の選手の真後ろ4 m未満での追走することは避け、45度横、又は並走し、互いに向き合わないようにする。
エイドステーション		セルフサービス方式にする。	ボランティアの増員を予定する。 チームを提供側メンバーと回収側メンバーとに分けた編成にする。 エイドステーションは今までよりも長めのテーブルレイアウトサイズにする。
ペナルティボックス			選手間、そして選手・TO間はソーシャルディスタンスを確保する。
ミックスリレー引継ぎゾーン			身体的コンタクトなしに引き継ぐ。
フィニッシュエリア	レース毎に一度、フィニッシュテープを消毒する。	フィニッシュテープは使用しない。 20200815	フィニッシュ手前の花道は1.5m幅で2つに分ける。 タイミングチップは選手自身ではずす。 フィニッシュ直後のスペースとしてフィニッシュラインから20m確保する。

27. メダルセレモニー

28. ITU EDUCATION HUB

- イベント再開に向けた必要なドキュメントと webinars は以下を参照

[https:// education.triathlon.org/mod/page/view.php?id=6145](https://education.triathlon.org/mod/page/view.php?id=6145)

29. 参考文献

コロナウイルス対策：大会開催に際して注意する点

第1版 2020年5月27日現在

注：本文書は、2020年5月27日現在の情報に基づき記載しています。内容は最新の情報に基づき適宜更新されることにご注意ください。

目次

【はじめに：準備における考え方の要点】	…2
【大会前】	
[1] 組織対応	…2
[2] 参加選手への対応	…3
[3] 観戦者への対応	…4
[4] 大会スタッフ・ボランティアへの対応	…5
[5] 資機材対応	…7
【大会期間中】	
[6] 選手・スタッフ受付での対応	…7
[7] 参加者への対応	…8
[8] 競技説明会	…10
[9] セレモニーの中止・縮小	…11
[10] 競技運営・会場作りへの配慮	…11
[11] 衛生用品の準備	…15
[12] メディカル体制の準備	…15
[13] その他の留意事項	…17
巻末1～10	…17



コロナウイルス対策：
大会開催に際して注意する点
第1版 2020年5月27日現在

配置ポジションごとの 確認事項

20200815

はじめに：準備における考え方の要点

トライアスロンは屋外で行う個人競技のため、新型コロナウイルス感染のリスクは低いスポーツです。

しかし大会会場における局所的に人が集まる場面と、大会会場までの移動場面は感染のリスクが高くなります。

このウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染の2つですが、感染していても無症状の期間があり、自覚無く他人に感染させてしまうことと、ヒトの身体を離れても条件によって数日は感染性を有していることがあり、誰もが知らない間にウイルスを運んでしまう危険性があります。誰かがウイルスを大会会場に持ち込み、大会がクラスターとなることは絶対に避けなければなりません。

感染拡大を防ぎつつ大会を開催するためには、ウイルスの感染経路を理解した上で、大会に集う全ての人に協力を求めることと、丁寧に各局面の準備を行うことが大切です。

そして何よりも、大会には開催地の住民の理解と協力が必要不可欠です。

地域住民と参加者、大会関係者、全ての人々が安心して大会を行うことができるよう、以下の点に注意して大会準備を進めてください。

【大会前】

〔4〕 大会スタッフ・ボランティアの皆さんへのお願い

- 4 - 1. **普段から「密閉」「密集」「密接」を避け、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットに気をつけ健康維持に努めていただく。**大会会場でも同様の行動をお願いいたします。
- 4 - 2. 移動手段(行き帰り)に関する注意喚起として
 - 公共交通機関をできるだけ避ける移動手段をご検討ください。自家用車、自転車などの推奨
 - 各大会ごとに大会実行委員会及び大会TDからの連絡事項を必ずご確認ください
- 4 - 3. **健康管理奨励。**
 - 具体的には健康チェックシート（体温、咳、痰、鼻汁、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、食欲低下、味覚異常・嗅覚異常の有無、近親者に左記の症状がないかなど）を作成し事前チェックの推奨。
 - 大会会場に入る前ならびに大会当日朝は必ず体温チェックを行う。

[4] 大会スタッフ・ボランティアの皆さんへのお願い

4 - 4. 以下の事項に該当する場合は、来場しないこと。

- 体調がよくない場合（例：発熱・咳・鼻汁・咽頭痛・息苦しさ・倦怠感・食欲低下・味覚異常・嗅覚異常などの症状がある場合）。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ※ 3. 基礎疾患（特に肺疾患、心疾患、高血圧、糖尿病など）のある方、喫煙者の方についてはスタッフ数が確保できる場合は参加を遠慮していただく。確保できない場合は、なるべく人と接する機会が少ない配置を検討する。

【大会前】

〔4〕 大会スタッフ・ボランティアへの対応

4－5． 日常からマスクを着用を心がけてください。

4－6． 対人距離（できるだけ2 m以上）を確保すること
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）

4－7． 会場内では感染防止のために主催者が決めたルールに従うこと。

4－8． 行動記録：大会前後14日間の出向いた場所、同行者について、特に人混みに入る場合だけでも可能な範囲で記録しておく。

【大会前】

[4] 大会スタッフ・ボランティアの皆さんへのお願い

TOとして参加いただける方への推奨事項として
厚生労働省が出している下記のアプリをインストールし、当日TOとして参加するにあたり
COVID-19と接触がなかったことをエビデンスに

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお願いします

自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省
新型コロナウイルス
接触確認アプリ
(略称：COCOA)
COVID-19 Contact Confirming Application

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の
感染者と接触した可能性について、通知を受け取
ることができる、スマートフォンのアプリです







※ 画面イメージ

○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、
スマートフォンの近接通信機能（ブルートウ
ース）を利用して、お互いに分からないようブ
ライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染
症の陽性者と接触した可能性について、通知を
受けることができるアプリです。

○利用者は、陽性者と接触した可能性が分かるこ
とで、検査の受診など保健所のサポートを早く
受けることができます。利用者が増えることで、
感染拡大の防止につながることが期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性

接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはません
ここで、いつ、誰と接触したのかは、取りつかず
※端末の中のみで接触の履歴（タイムライン）を記録します
※記録は14日経過後に削除となります
※記録は、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
※ブルートゥースをオフにすると履歴を記録しません

iPhoneの方はこちら      

厚生労働省 内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策推進室
情報通信技術(IT)総合戦略室

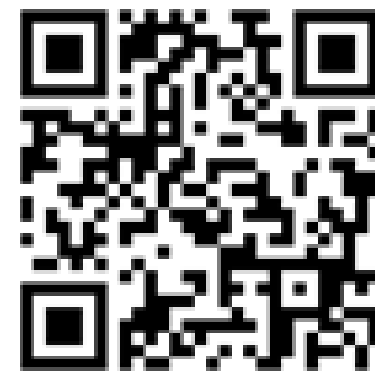
App StoreまたはGoogle Playで「接触確認アプリ」で検索
してインストールしてください。

Google Play
[https://play.google.com/store/apps/
details?id=jp.go.mhlw.covid19radar](https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar)

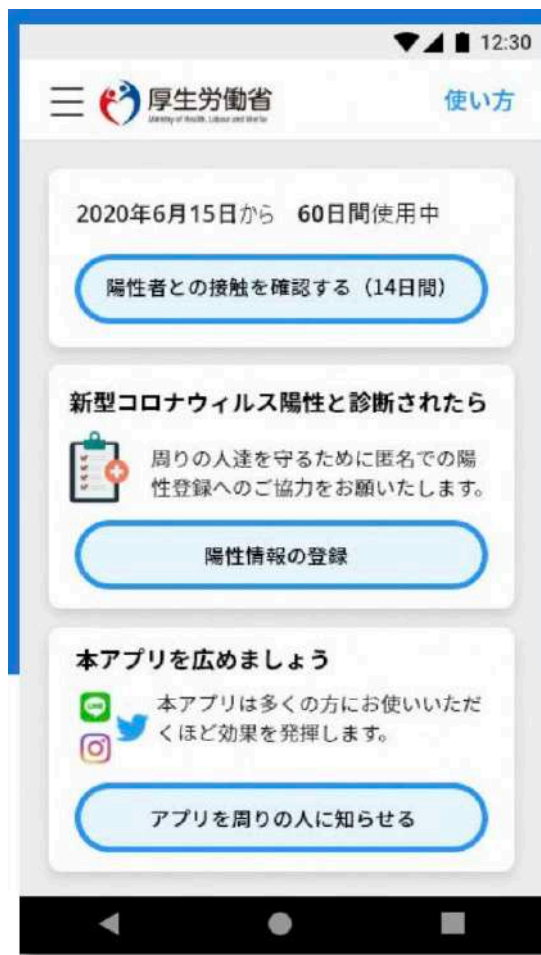
App Store
[https://apps.apple.com/jp/ap
p/id1516764458](https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458)



20200815

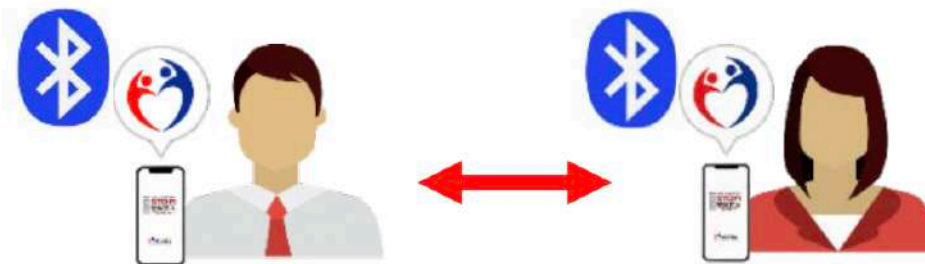


〔4〕 大会スタッフ・ボランティアの皆さんへのお願い



接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



- ・ 接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはできません
- ・ どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません

※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
※記録は14日経過後に無効となります
※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
※Bluetoothをオフにすると情報を記録しません

【大会期間中】

全般：

- 大会会場におけるマスク着用（選手は受付やトランジションへの準備・片付けなど競技前後、大会スタッフおよび観戦者は期間内全て）、頻回の手洗いおよび手指消毒の推奨。

【大会期間中】 テクニカルオフィシャルが守るべき行動

- 選手には触れないようにする
- どうしても必要な場合を除き、選手とは2mの距離をあける
- 原則、常時マスクを着用する
- ホイッスルは必要な場合にのみ使用してください
- 短く鋭くホイッスルを吹き、長く吹くようなことはしない
- 体調がすぐれないときは執務にあたらな
- 複数のレースがある場合は、合間に（グループ間、代理の間で）手指消毒剤を行う
- アスリートの方をむいてホイッスルは吹かない
- バイク乗車するTOはフルフェイスのヘルメットをかぶる
- フィニッシュエリア担当のTOはフェイスシールドを使用する

【大会期間中】 会場に訪れた際の対応として

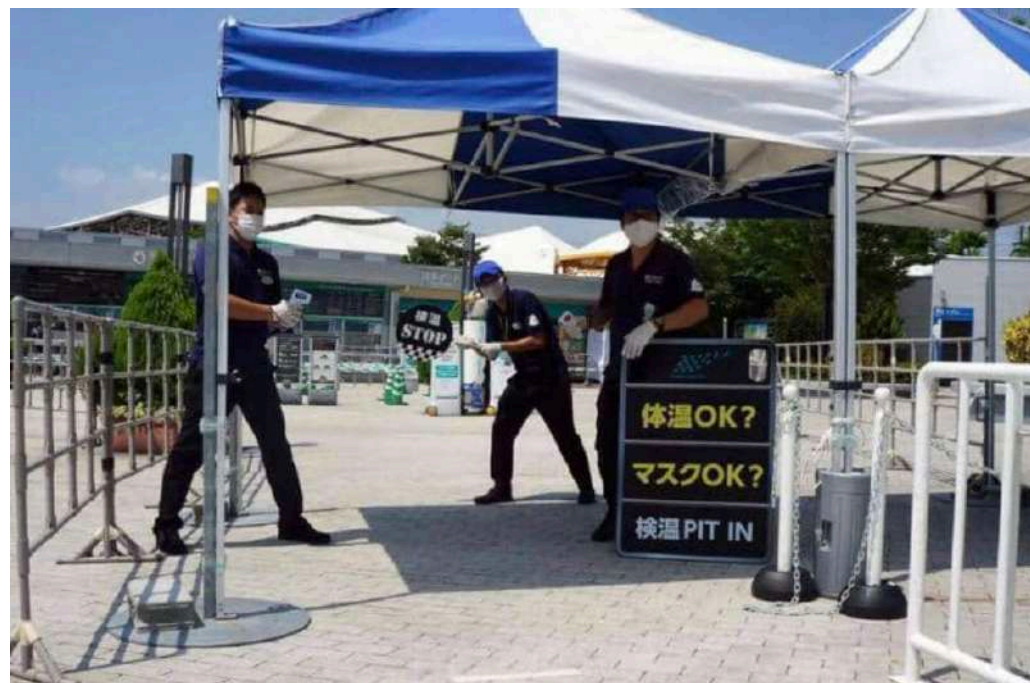
大会予算によりますが
サーモグラフィで
一時チェック



個別に検温
体調チェック



高熱であれば会場
には入れない



鈴鹿サーキット事例

[6] 選手・スタッフ受付での対応

当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に開催するため、以下に配慮して受付事務を行うことが必要です。

- 6 - 1. 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- 6 - 2. 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）
- 6 - 3. 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。
- 6 - 4. レースナンバーによって時間帯を分ける、もしくは時間を延長するなどして、特定の時間帯に集中しないよう考慮（並ぶ際は一定の距離が保てるようテープなどで印をつけるなど）。
- 6 - 5. 受付会場の換気の徹底。換気の良い場所（屋外など）で実施

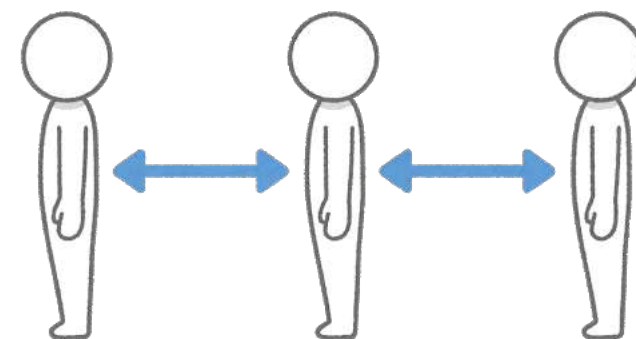


[6] 選手・スタッフ受付での対応

- 6 - 6. 受付を行うスタッフは、マスクを着用
- 6 - 7. インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を極力避けるようにする
- 6 - 8. 当日受付のほか、前日受付を行い、混雑を極力避ける
- 6 - 9. 大会会場で発熱が分かった場合、必ず実行委員会に報告するよう連絡先を受付に周知する。



間隔を空けて
お並び下さい



[7] 参加者への対応

7-1. 体調の確認

主催者は、大会前日もしくは当日に、参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めることが必要です。

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報情報の取扱いに十分注意する。
- ② 大会当日の体温
- ③ 大会前2週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

TMTU大会実行委員会としては、各大会ごとにエントリーいただいた選手の方には当日朝、会場に来場する前に必ずWEBなどで健康状態を入力してから来場いただく仕組みを検討しています。



[7] 参加者への対応

7 - 4. 参加者が競技を行う際の留意事項

参加者に対し、以下の留意点を周知・徹底する。

① 十分な距離の確保 競技中だけでなく、競技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※5）を空けること。（介助者や誘導者の必要な場合を除く。）強度が高ければ呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける必要があること。

また、水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること。

※5. 感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。

② 競技中の位置取り 前の人呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

③ その他

- ・ ア 競技中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- ・ イ タオルの共用はしないこと。
- ・ ウ 道具の共有は禁止し、特に水のボトルやコップは共有しないこと。
- ・ エ 競技後の飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。また、同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと。
- ・ オ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと。

[8] 競技説明会

- 8 - 1. 事前資料配布、WEB方式の導入など大会期間中に集合しての実施を見直す。
- 8 - 2. 換気の良い場所（屋外など）、十分なスペースが確保された会場で人数を制限し実施することも検討。

TMTU・及び大会実行委員会としては、各大会ごとにエントリーいただいた選手の方には事前にWEBなどで競技説明会用の動画などを準備し、それらを選手が閲覧できる状況を構築することを検討しています。



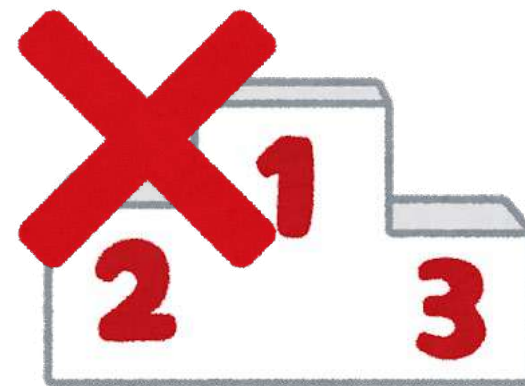
[9] セレモニーの中止・縮小

9 - 1. 開会式、表彰式、閉会式、パーティー、EXPOなどのセレモニーの中止、縮小。表彰式の縮小については、例えば全員一斉に実施するのではなく、順位が確定したら順次個別に表彰をするなど。また、競技終了後、速やかな帰宅を推奨。

9 - 2. 上位入賞者と結果発表の方法の検討：後日ホームページ上で発表、各選手へのダイレクトメールなど。

9 - 3. 入賞者に対し副賞がある場合は、後日郵送も検討。

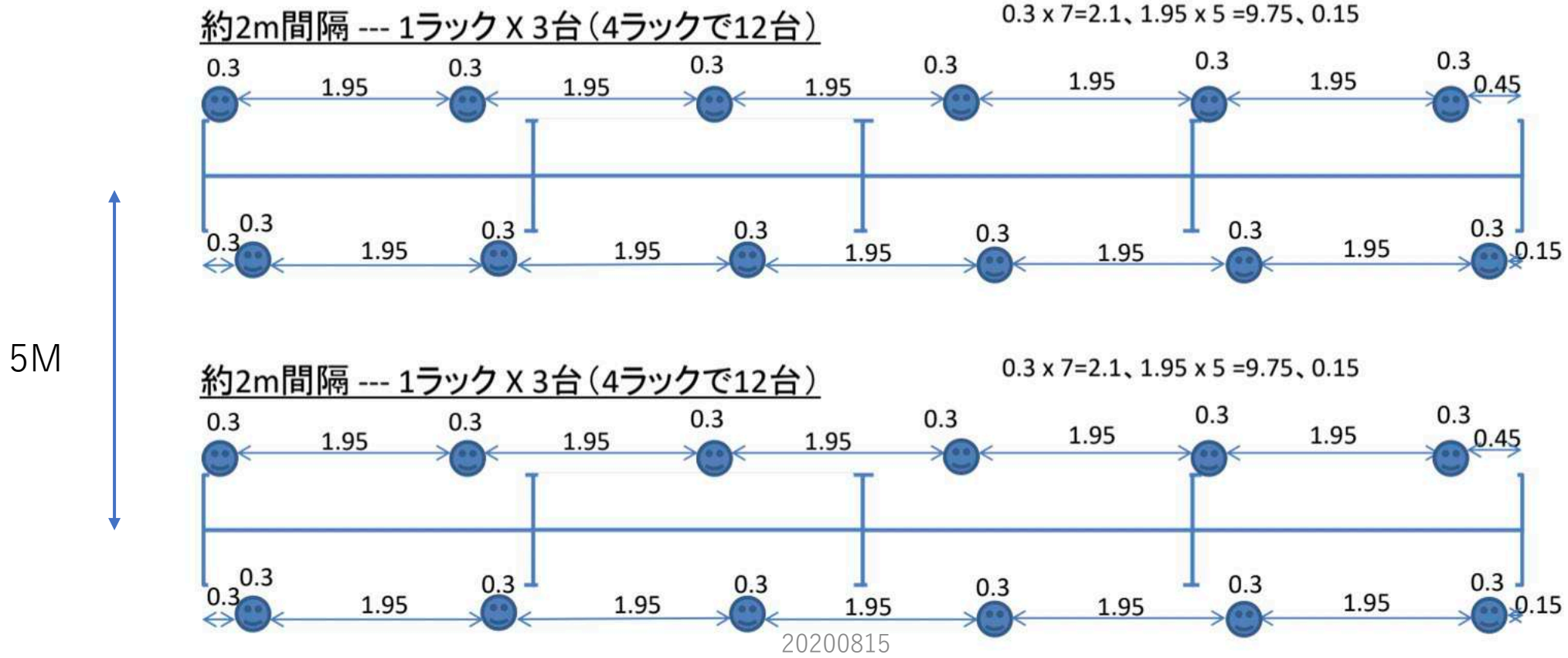
TMTU・及び大会実行委員会としては、基本的に開会式、閉会式は執り行わず、リザルトなどは後日WEBでご確認いただけるように準備検討しています。



[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 1 . トランジション

それぞれの選手に最低2mのスペースとバイク・ラックの2列の間を5m以上の距離に離して提供することを推奨する。

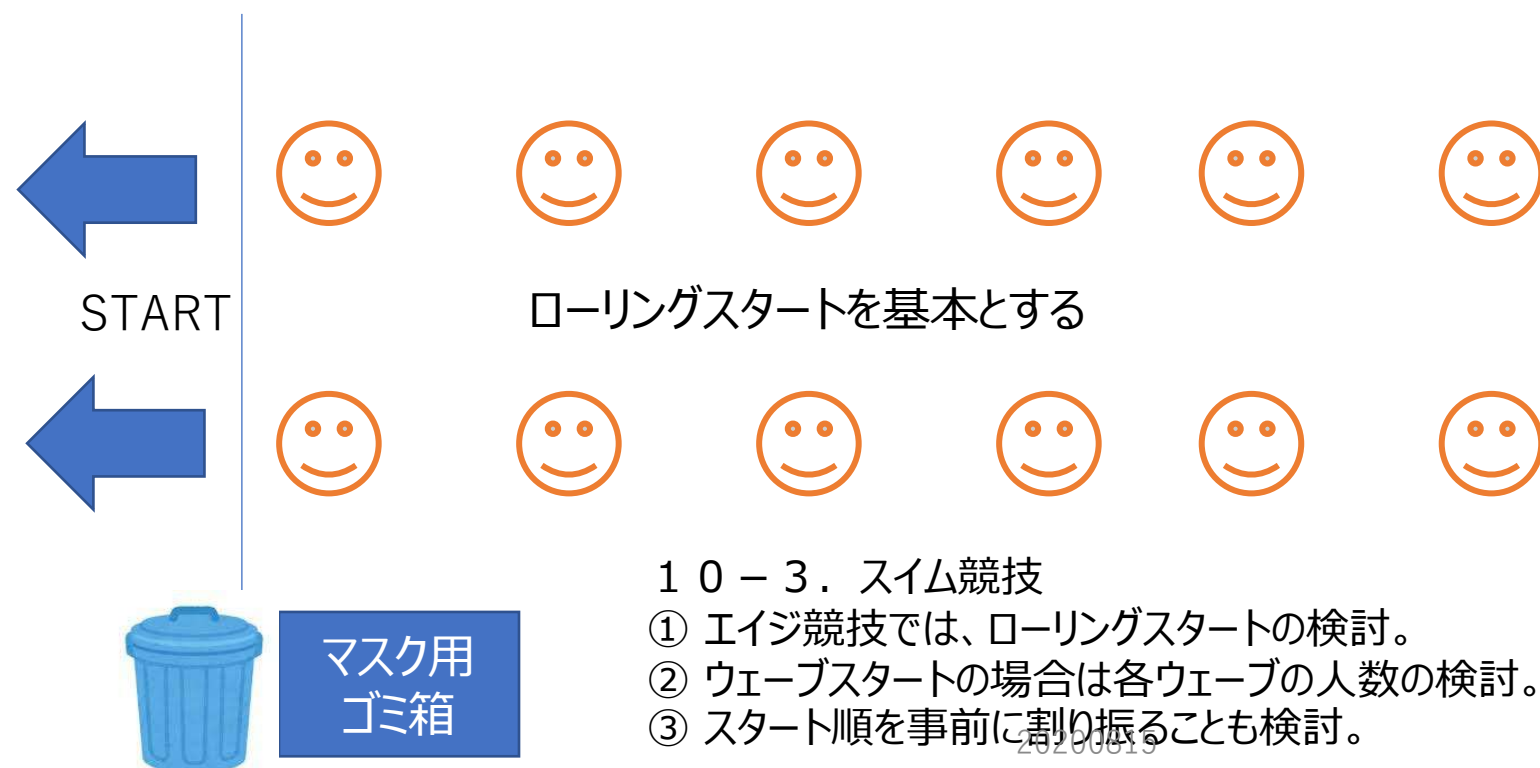


20200815

[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 2 . スタートエリア

- ① 入場人数の制限。
- ② エリア外で待機の際も、十分なスペースを確保し各選手間に一定の距離（2mの対人距離推奨）を設ける。



1 0 - 3 . スイム競技

- ① エイジ競技では、ローリングスタートの検討。
- ② ウェーブスタートの場合は各ウェーブの人数の検討。
- ③ スタート順を事前に割り振ることも検討。

- 選手は極力話をせず待機するように依頼する
- 直前までマスク着用の選手へは、スタート付近にマスクを捨てるためのゴミ箱があることを周知する

[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 4 . バイク競技

エイジ競技ではドラフティング禁止レースのみ適用。

追い抜くならば
距離を取って素早く!
スタンダード以下20秒
ミドル・ロング25秒



スタンダード以下10m
ミドル・ロング12m

[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 5 . ラン競技

選手は、4 m未満の距離で他の選手の真後ろを走るようにしないことが推奨される。

- ① 可能な限り対面コースは避けること。
- ② 周回コースの場合は、なるべく少ない周回数にすることを推奨。

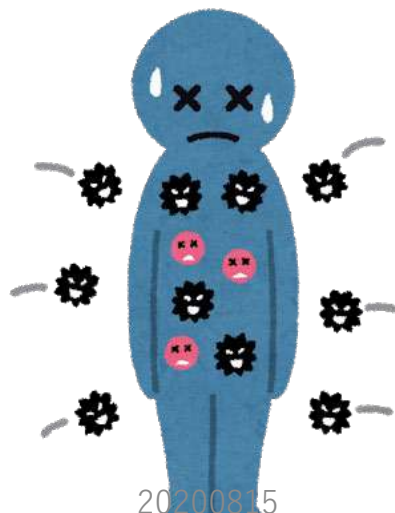
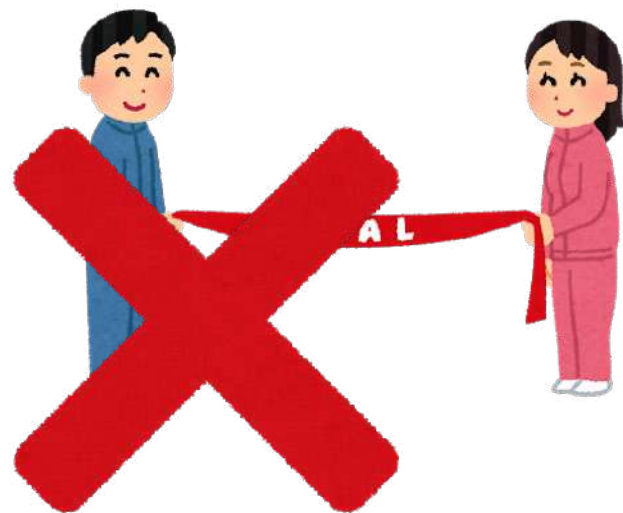
TMTU・大会実行委員会としては、各大会ごとにランコースの設置やコースの見直しを検討し、極力対面コースにならないように検討をしています。今までとコースが変わる可能性が高いため、ランコース担当のTOはコースをよく確認し、現地でも安全性に配慮して設置をお願いいたします。



[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

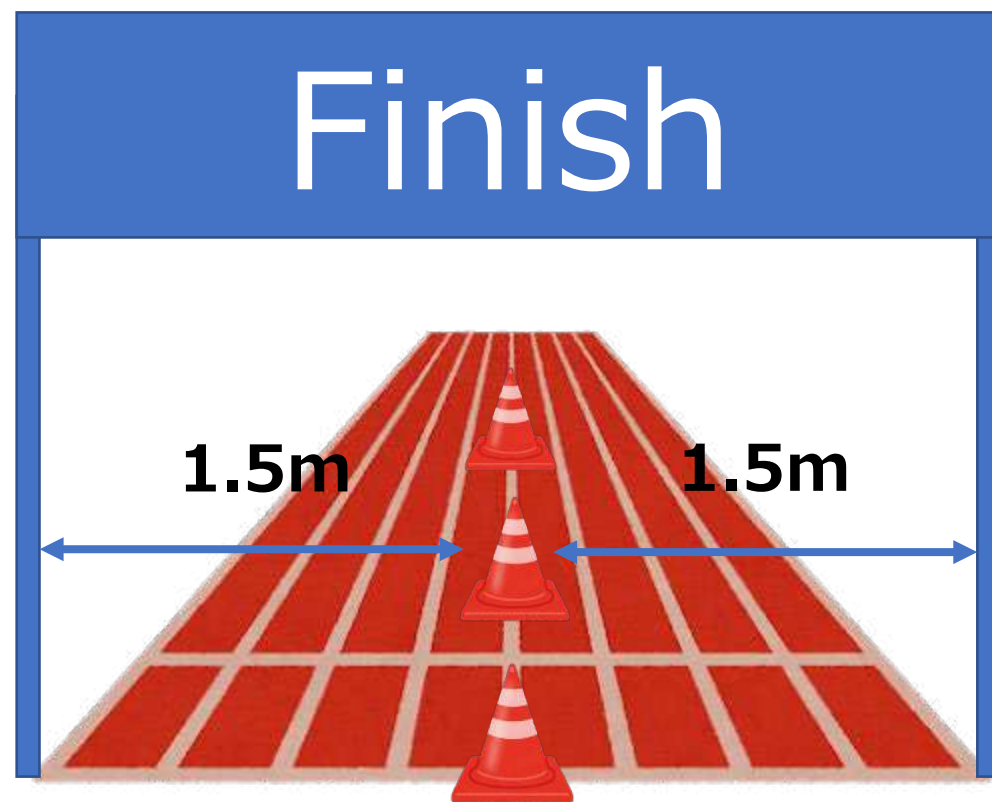
1 0 - 6 . フィニッシュエリア

- ① フィニッシュテープは、パラトライアスロンならびにエイジ大会では使用しない方がよい（接触の機会を減らすため）。
- ② フィニッシュ後の選手は、ウイルスに対する抵抗力が落ちており、感染リスクが高まっていることを認識しておく。
- ③ 混合リレーのフィニッシュでは、チームの選手が集まってきてはいけない。



[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 6 . フィニッシュエリア



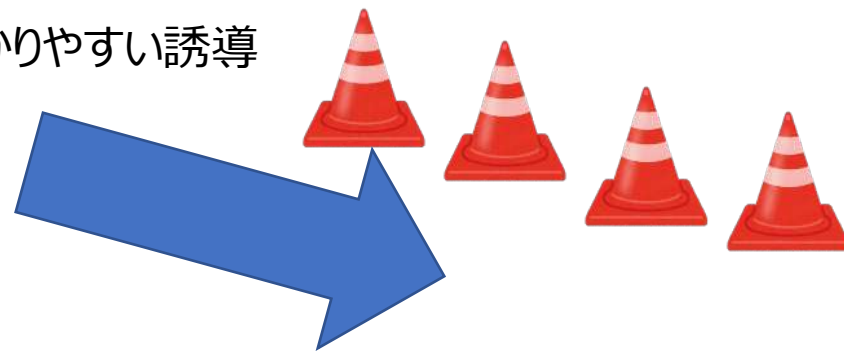
- **フィニッシュシュートは、選手が1.5mよりも近づくことを防止するため、1.5m幅のフィニッシュレーンに分割しなければならない。**

[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 6 . フィニッシュエリア

- ④ フィニッシュした後の動線の検討（参加者が滞留しない工夫、フィニッシュ後配布物の配布場所の再考）。
- ⑤ フィニッシュ後に飲食を提供する際は、個包装された物を用意する。滞留を避けるため飲食スペースには十分なスペースを確保する（スペースがない場合は提供を再検討）。

わかりやすい誘導



- すみやかな移動を誘導し、選手が溜まらないように促す。
- 導線を確保し、フィニッシュ付近の応援者にも距離を保つようにお声がけする。
- フィニッシュ後に倒れる選手なども考慮し、ベンチなども距離を保って準備配慮する



[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 7 . エイドステーション

飲食物を参加者に提供する際は、以下に配慮して行うことが求められる。

- ① セルフ方式（ボランティアから手渡しを極力避ける）
- ② スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトルや使い捨ての紙コップで提供すること。
- ③ 給水コップなどの間隔を十分取ること。
- ④ エイドエリアのスペースを十分取ること。
- ⑤ 果物等の食品については、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなど、工夫を行うこと。
- ⑥ 飲食物を取り扱うスタッフにはマスク、手袋を着用させること。
- ⑦ 競技前後においては、参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること。

アルコール
消毒液
入荷しました



20200815



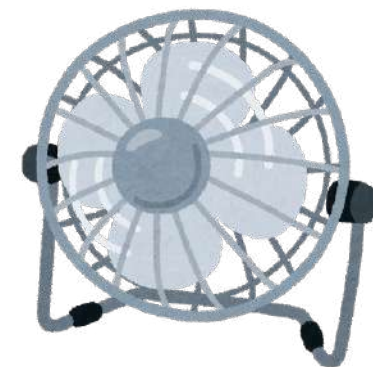
[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 8 . 更衣室、アスリートラウンジ

更衣室、アスリートラウンジは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意することが必要です。主催者は、更衣室やアスリートラウンジ、一時的な休憩をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備することが求められます。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。（障がい者の介助を行う場合を除く。）
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。
- ⑤ 頻回に清掃する、タオル類の共用を避けるなど。

- 基本的に選手には着替えは個々に事前準備を促す
- 終了後の着替えも個人の車などで依頼をお願いする
- もし大会として作る場合は換気に配慮

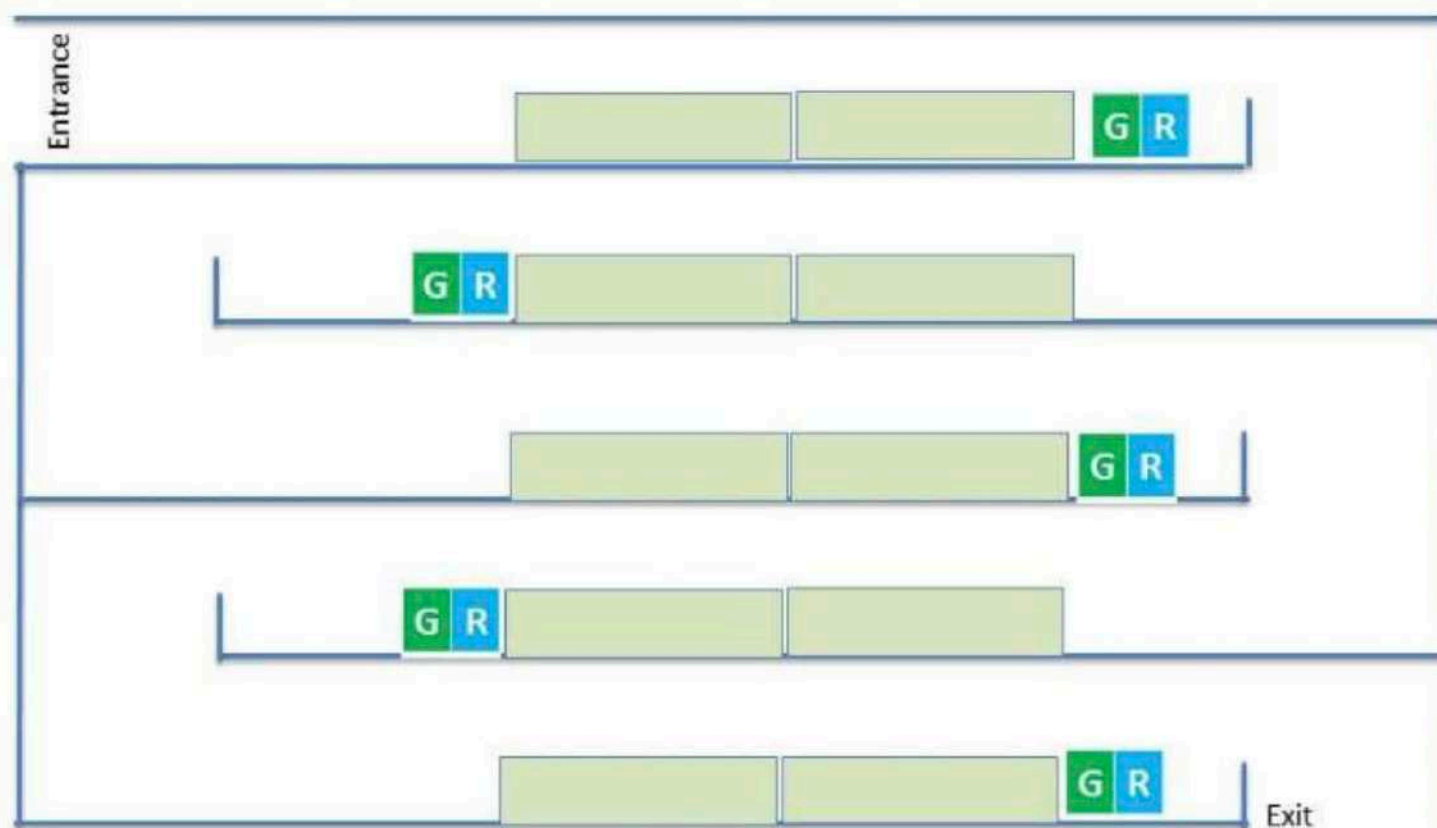


[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 8 . 更衣室、アスリートラウンジ

Diagram 42: Recovery Area Layout Sample (ITU, 2019)

図42 : リカバリーエリアのレイアウト 例 (ITU、2019)



[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮 荷物預かりなど

- 選手が荷物を回収する際は、ビブナンバーを提示してもらい、ボランティアがテーブル上に置く。
- ビブナンバーの範囲ごとに物品の受け渡し・回収時間があるように大会側で準備を行う。
- 受付の際にビブナンバーごとに受け取り時間があることを選手に提示する。



[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 9 . 手洗い場所

主催者は、参加者が大会期間中に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して全ての主要な認定ゾーン（アスリートエリア、VIP、メディア、作業スペース）に手洗い場所を確保することが必要です。

- ① 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ② 「手洗いは20秒以上」等の掲示をする。
- ③ スタート、エイド、トランジション、フィニッシュにできるだけ手洗い場を確保する。
- ④ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意することも考えられる。（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。）
- ⑤ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ⑥ 可能であれば、部屋のドアは開け放つこと。それができないならば、いろいろな人がドアノブを触ることがないようにボランティアをおいて管理すべきである。



[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 1 0 . 洗面所（トイレ）

洗面所（トイレ）についても感染リスクが比較的高いと考えられることに留意することが必要です。主催者は、洗面所（トイレ）について、以下に配慮して管理することが求められます。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに（1日数回）消毒すること。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。
- ③ 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
- ④ 「手洗いは 20 秒以上」等の掲示をすること。
- ⑤ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意することも考えられる。（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること。）

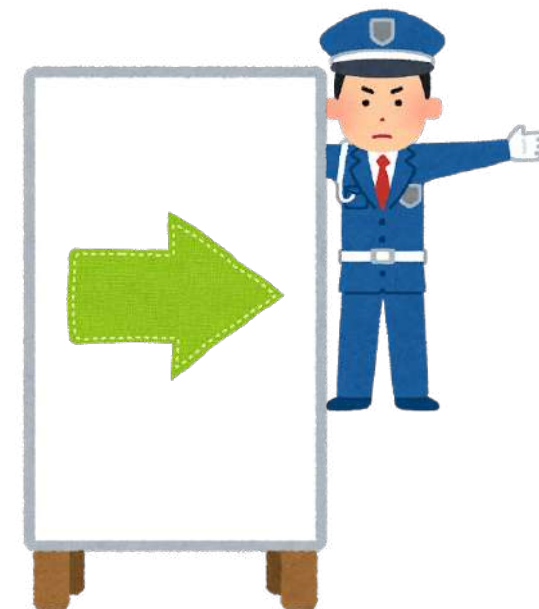


**フタを閉めてから
流してください**

[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 1 1 . 観客席

- 対人距離の確保は、観客がいる全てのエリアで尊重されるべきである。
- この点を考慮して、複数の場所から見ることのできる会場レイアウトを検討する。
- また、全ての会場動線は、一方通行で計画する。観客へは、通路の狭い場所では止まらないようにアドバイスする。
- 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとることが求められます。もしグランドスタンドが設置される場合は、席の間は2 mの距離を空けるように、計画する。また、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知することが必要です。



[1 0] 競技運営・会場作りへの配慮

1 0 - 1 3 . ゴミの廃棄

- 衛生用品（例えばティッシュ、タオル、衛生用品）を安全に廃棄するための密閉式ゴミ箱を全ての部屋に用意する。
- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用することが求められます。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒することが必要です。



Single use, splash-resistant gloves

使い捨て防滴手袋

Follow the simple steps below to remove gloves correctly.

以下の順序の通り正しく手袋を外してください。



Remove carefully to protect your skin from contamination.

汚染物質からあなたを守るために手袋は注意して取り除いてください。



[1 1] 衛生用品の準備

- 1 1 - 1. 各所（トイレ、会場、更衣室、アスリートラウンジ、トランジションエリアなど）へ衛生用品の配置。
 - 1 1 - 2. マスク、フェイスシールド、消毒用エタノール(濃度70%)、石鹸、ペーパータオル、ゴム手袋、体温計（非接触型が望ましい）など衛生用品の配置。
- 大規模大会ではサーモメーターレンタルの配置検討。
加えて救護班には血中酸素飽和度計など。

TMTU・及び大会実行委員会としては、
基本的に必要なエリアへの備品を準備しま
すが、大会前大会後の移動にはご自身の
マスクをご持参ください。



【大会後】

〔4〕 大会スタッフ・ボランティアへの対応

- **大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告をお願いします。**
- 受付、案内窓口、フィニッシュ後の参加賞受渡しなど、不特定多数の選手と接するポジションは選手以上にリスクが伴う場合があります。また、そういったポジションにおいては感染源にもなりかねません。衛生用品の充実や対応の徹底（マスク、ゴム手袋なしで選手の対応を行わないなど）、事前の体調管理など安全管理をご検討ください。

[1 2] メディカル体制の準備

- 1 2 - 1. 地域の保健所ならびに受入医療機関へ体制確認。
- 1 2 - 2. 感染が疑わしいケースへの対応策の準備。

<対応フロー>

- ① 大会事務局新型コロナウイルス感染症対応連絡先の明示。
- ② 感染症対応担当者（医療関係者が望ましい）の設定。
- ③ 原則として直接対面しての対応は行わず、電話で対応する。
- ④ 自宅またはホテルの居室にて体温ならびに症状の確認。
- ⑤ 直接対応が必要な場合は専用隔離スペースを用いる(後述)。この際には、できれば医療関係者が、標準予防策の上で、体温測定に加えて血中酸素飽和度の測定も行うことが望ましい。
- ⑥ 地域の保健所または帰国者・接触者相談センターへ連絡し、指示に従う。

[1 2] メディカル体制の準備

⑦ 医療機関を受診する場合、患者の移動手段確保：公共交通機関ならびにタクシーは感染拡大のリスクに配慮し、使用を控える必要がある。移動手段についても地域の保健所または帰国者・接触者相談センターの指示に従う。＊以下は現時点での移動案（内容については、状況に応じて要検討）

（ケース1） 感染を疑う者が、その者の関係者[同行者、チーム仲間、コーチなど]とそれまで行動を共にしていた場合： 本人ならびに関係者全てがマスク、ゴム手袋を装着した上で、窓を開け換気した状態で関係者の車両で移動する。

（ケース2） 感染を疑う者が単独で来場していた場合： マスクならびにゴム手袋を装着した上で、感染者送迎専用車両を大会主催者で準備し、窓を開け換気した状態で送迎する。送迎した場合は使用前後に車内の十分な清掃ならびに消毒を行う。

[1 2] メディカル体制の準備

⑧ 感染を疑う者の行動記録を入手し、地域の保健所または帰国者・接触者相談センター（※ 6）に連絡する。

※ 6 . 帰国者・接触者相談センター（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusya.html

⑨ 対策チームで情報を共有し、その後の対応について協議する。情報共有のタイミングは感染を疑う者から相談を受けた時点とし、その後適宜情報共有する。

1 2 - 3 . 隔離対策の準備

感染を疑う者が直接大会事務局を訪ねてきた場合に備え、専用の隔離スペースを準備する。夜間などでオープンスペースでの隔離対応が困難な場合には隔離できる部屋を準備する。この理由は、密閉された空間での対応は感染拡大の原因となる可能性があるからである。隔離後の対応は上記 1 2 - 2 に準じる。

[1 3] その他の留意事項

主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面（上記 7 - 1）について、保存期間（少なくとも 1 月以上）を定めて保存しておく必要があります。また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、開催自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておく必要があります。

大会イメージビデオ

<https://www.facebook.com/IRONMANtri/videos/715100309304992/>



ITU COVID-19ガイドラインおよび
コロナウイルス対策：
大会開催に際して注意する点

Q&A セッション

20200815

長時間お疲れ様でした。
Thank you.

TMTUメデイカル委員会
TMTU 技術委員会

If you have any question, please contact to us:)